

環境安全活動概況

UBEグループでは、環境安全中期方針を推進するために、PDCAサイクルを回すことにより、活動の改善を図っています。
2020年度評価：概ね達成

	2020年度 活動計画	2020年度 活動実績
共通	安全文化の醸成 1. 安全文化の醸成 1-1. 本社の評価結果に基づく計画的醸成活動 1-2. 「安全はすべてに優先する」の意識の浸透	1. 安全文化の醸成 1-1. 各事業所は安全文化醸成計画策定を完了し、活動 1-2. 安全意識向上の取り組み（「基本動作のルール徹底、安全コール」）実施
労働安全衛生	労働安全 1. 重大災害の撲滅 1-1. 重大リスク対策実施の継続（有効性の向上） 1-2. 請負協力会社と一体となった安全活動の推進	1. 重大災害の撲滅 1-1. 各事業所で重大災害につながるリスクが潜在する作業を抽出、リスク低減（本質安全化等）の計画を策定、実施中 1-2. 各事業所で請負協力会社との合同パトロール、安全会議への参加、監査の強化等を環境安全管理計画に盛り込み一体となった安全活動を推進中
	職場環境改善 1. 職場環境改善の推進 1-1. 安衛法3管理の形骸化防止	1. 職場環境改善の推進 1-1. 保護具の着用と着用記録の徹底、防音対策を検討
保安防災	保安管理体制の強化 1. 経年設備の事故に対する網羅的リスク対策 1-1. 点検、検査計画の見直しおよび改善の確実な実行 1-2. 電気設備事故の水平展開 2. 高圧ガス認定事業所の保安力向上 2-1. 自己評価結果を活用した改善の推進	1. 経年設備の事故に対する網羅的リスク対策 1-1. 各カンパニーで点検、検査対象の設備を選定し、計画を策定するとともに改善を実施 1-2. 各カンパニーで電気設備トラブルの再発防止に向けた水平展開を実施 2. 高圧ガス認定事業所の保安力向上 2-1. 各認定事業所は、計画的改善の仕組みである「保安力評価結果の活用ガイドライン」を活用し、改善活動実施
	地震・津波対策 1. 自然災害対策の推進 1-1. 自然災害対策実行計画の遂行	1. 自然災害対策の推進 1-1. 各カンパニーは、本社が定めた「自然災害対策自己評価基準」に沿って自己評価を行い、その結果から改善対象項目を設定、計画的に改善を実施
環境保全	環境リスクの低減 1. 環境リスクの低減 1-1. 環境事故対策会議で策定した改善計画の推進	1. 環境リスクの低減 1-1. 各事業所は、環境計器を追加設置し、漏洩時の一時貯蔵タンク設置を計画
	環境負荷の継続的削減 1. 環境負荷低減計画の推進 1-1. 自主選定した20種類の化学物質*2の排出削減 2021年度目標達成に向けた改善計画の推進 1-2. 産業廃棄物の外部最終処分量の削減 2021年度目標達成に向けた改善計画の推進	1. 環境負荷低減計画の推進 1-1. 20化学物質の削減実績：2010年度比29%削減 1-2. 外部最終処分量の削減実績：2000年度比81%削減
地球環境問題	低炭素社会への貢献と対応 1. 2022年度以降の目標達成に向けた具体策の検討 2. 地球温暖化に対する社員の意識向上 2-1. 気候変動に関する中長期的な動向の情報を把握・周知し、取り組み強化や新規事業創出等へつなげていく 2-2. ステークホルダーを含む社内外へUBEの取り組みを正しく発信していく	1. 2022年度以降の目標達成に向けた具体策の検討 1-1. NEDOなど外部機関との協働（研究開発）および省エネ推進 1-2. 2020年度GHG排出量は1,127万t 1-3. 2020年度の環境貢献製品型売上高比は30% 1-4. 温暖化対策、海洋プラスチックごみ問題、生物多様性、水資源を地球環境問題と定義し、目標設定 2. 地球温暖化に対する社員の意識向上 2-1. エネルギー管理委員会等での情報共有および教育（本社環境安全全部支援） 2-2. CDP（D→B評価）、FTSE等、統合報告書、各社アンケートによる外部への情報開示 2-3. 機関投資家とのESG面談および情報収集（財務・IR部共同） 2-4. 評価向上へ向けての情報開示内容精査（本社各部門共同） 2-5. TCFD提言への賛同表明 2-6. スコープ1&2エネルギー起源CO ₂ 第三者検証およびスコープ3算定内容の見直し
環境安全 監査・査察	1. 環境安全監査・査察の実施	1. 環境安全監査・査察の実施 1-1. 本社および部門による環境安全監査をUBEの7事業所とグループ会社で実施 1-2. 環境安全査察をUBEの10事業所と3グループ会社で実施
地域との対話	1. 地域のステークホルダーとの対話を推進	1. 地域のステークホルダーとのRC地域対話*3を開催 1-1. 第13回千葉地区RC地域対話（書面開催）：「第13回RC千葉地区地域対話予稿集発刊によせて」（袖ヶ浦市長、市原市長）、「千葉県石油コンビナート等防災計画について」（千葉県防災危機管理部）、企業の取り組みを掲載 1-2. 第16回宇都地区RC対話集会（web開催）：「レスポンスフル・ケア（RC）活動」とそのコミュニケーション活動について」（日化協）、「PRTRについての説明」（うへ環境コミュニティ）の講演、企業の取り組み発表とテーマ討議

自己評価	2021年度 活動計画	SDGs	RC※1コード	用語解説
★★	1. 安全文化の醸成 ・本社の評価結果に基づく計画的醸成活動の定着	—	—	*1 レスポンシブル・ケア(RC): 化学物質を取り扱う企業が化学物質の開発から製造、物流、使用、最終消費を経て廃棄・リサイクルに至る全過程において、自主的に「環境・安全・健康」を確保し、活動の成果を公表して社会との対話・コミュニケーションを行う活動。 *2 自主選定した20種類の化学物質: メチルアルコール、ブチルアルコール、トルエン、イプシロン-カプロラクタム、スチレン、アンモニア、シクロヘキサン、シクロヘキサノン、しゅう酸、酢酸ビニル、キシレン、n-ヘキサン、エチルベンゼン、クロロメタン、ベンゼン、フタル酸ジメチル、N、N-ジメチルアセトアミド、ほう酸化合物、フェノール、メチルブチルケトン
★★	2. グループ環境安全ガバナンス体制の強化 ・本社とカンパニーの機能分担と定着	—	—	
★★	1. 重大災害の撲滅 1-1. 重大リスク対策実施の継続(対策の確実な実施) 1-2. 請負協力会社と一体となった安全活動の推進(有効性の向上) 1-3. 安全意識の向上に向けた教育・訓練の推進		労働安全衛生	*3 RC地域対話: 一般社団法人日本化学工業協会RC委員会の地区会員企業が、地域のステークホルダー(地域住民、市民団体、行政関係者など)と、RC実施項目(環境保全、保安防災など)への取り組みについて相互理解を深めるために、各地区において開催する対話集会。
★★	1. 職場環境改善の推進 1-1. 騒音職場の改善と安衛法3管理の定着	—	—	
★★	1. 経年設備の事故に対する網羅的リスク対策 1-1. 対象の見直し、追加および改善の実行と成果確認 1-2. 類似事故の再発防止 2. 高圧ガス認定事業所の保安力向上 2-1. 保安力評価結果の活用(仕組み)の定着と効果の確認		保安防災	*3 RC地域対話: 一般社団法人日本化学工業協会RC委員会の地区会員企業が、地域のステークホルダー(地域住民、市民団体、行政関係者など)と、RC実施項目(環境保全、保安防災など)への取り組みについて相互理解を深めるために、各地区において開催する対話集会。
★★	1. 自然災害対策の推進 1-1. 自然災害対策実行計画の定着と効果の確認	—	—	
★★	1. 環境リスクの低減 1-1. 環境リスク低減策の推進と効果の確認 1-2. 他事業所への水平展開	  	—	*3 RC地域対話: 一般社団法人日本化学工業協会RC委員会の地区会員企業が、地域のステークホルダー(地域住民、市民団体、行政関係者など)と、RC実施項目(環境保全、保安防災など)への取り組みについて相互理解を深めるために、各地区において開催する対話集会。
★★	1. 環境負荷低減計画の推進 1-1. 20化学物質の削減目標:2010年度比37%削減 1-2. 外部最終処分量の削減目標:2000年度比83%削減	—	—	
★★★★	1. 地球環境問題の目標達成に向けた具体策の検討 2. データ収集の効率化 3. 地球環境問題に対する社員の意識向上、情報発信	    	環境保全	*3 RC地域対話: 一般社団法人日本化学工業協会RC委員会の地区会員企業が、地域のステークホルダー(地域住民、市民団体、行政関係者など)と、RC実施項目(環境保全、保安防災など)への取り組みについて相互理解を深めるために、各地区において開催する対話集会。
★★★★	1. 環境安全監査・査察の実施	—	—	
★★★★	1. 地域のステークホルダーとの対話を推進		マネジメントシステム 社会との対話	—